

## 一見和彦教授が日本海洋学会環境科学賞を受賞

5月22日、瀬戸内圏研究センターの一見和彦教授が日本海洋学会環境科学賞を受賞し、表彰式が幕張メッセ国際会議場で行われました。

受賞名は、「干潟域における生物生産および物質循環に関する研究と啓発活動の推進」です。

一見教授は、干潟域では特定の生物を研究する事例が多い中、干潟域の食物連鎖系全体に着目し、幅広い生物群集を研究対象とした調査研究を行っています。また、干潟生態系における栄養塩や有機物の物質循環過程や環境変動要因の解明にも網羅的に取り組んできました。

さらに地域貢献活動として、小中学生や一般市民対象の干潟・磯の観察会を数多く開催し、

海に関する啓発活動を展開しています。2010年には環境学習用テキスト「瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック」を作成し、各地の観察会においてテキストとして活用されています。2014年には、「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」の発刊責任者を務め、瀬戸内の多くの地域で環境学習に使用されています。また、2012年には、干潟研究とその啓発活動が認められ、香川大学の関係教員とともに文部科学大臣表彰（科学技術賞）を受賞しました。

※日本海洋学会環境科学賞：海洋環境保全に関わる学術研究の発展、啓発および教育に大きく貢献した日本海洋学会員に授与されます。



日比谷会長（左）と一見教授（右）

## 多田邦尚教授が日仏海洋学会賞を受賞

6月10日、農学部が多田邦尚教授（瀬戸内圏研究センター長）が日仏海洋学会賞を受賞し、表彰式と受賞記念講演が日仏会館（東京都）で行われました。

受賞名は、「沿岸海域の低次生物生産過程と生元素循環に関する研究」です。

多田教授は、国内の代表的な閉鎖性海域である瀬戸内海において研究を展開。まず、海洋食物連鎖の出発点である植物プランクトンの一次生産量（光合成量）の測定を瀬戸内海の全域で実施しました。この成果は、我が国の沿岸海域が有する一次生産性の指標として、今も当該分野に関わる多くの研究者に引用されています。

また、大型珪藻や夜光虫といった、時として沿岸海域で極めて大きな生物量を占めるプランクトンについて、長年に渡って生物量の増減過程とその化学成分を測定し、これらの生物を巡る生元素の動きを明らかにしました。さらに、海底泥の有機物含量や底泥からの栄養塩の溶出についても研究し、高度経済成長期以降きれいになった瀬戸内海の環境変遷を知る上で極めて重要なデータセットを提供しています。これらの研究成果は、国内の沿岸海域に関わる多くの研究者に引用されています。

近年では、沿岸海洋学研究を幅広く続ける一方で、魚類養殖場の環境劣化や、瀬戸内海を中

心に大きな問題となっている栄養塩濃度の低下、これを原因とする養殖海苔の色落ちなどにも積極的に取り組み、科学的な研究成果をあげると共にその対応策を提言しています。



小松会長（左）と多田教授（右）

## 理事閑話

### 遍路の山道を歩く

四国に住むことになったのだからという軽い気持ちで、厚い信心も修行の心構えもないままに、八十八箇所霊場のいくつかを訪れている。高松市街から近い屋島寺、八栗寺、根香寺は、健康増進も兼ねて遍路道歩いて登ってみた。

急な坂道ではあるが、道は歩きやすく整備され、地元の方々の活動だろうか、草刈り・清掃もされている。鶯の鳴き声、緑の木々を抜ける風、道端の野の花に舞う蝶などに癒やされつつ歩を進め、霊場に到着すると、眼下には穏やかな瀬戸内海とともに、高松の町の家々も小さく見える。「汗をかいて登って見る景色の美しさは、車やロープウェイで来た人にはわからない」と自分勝手に満足する。

また、遍路道ですれ違う老若男女と交わす挨拶は心に元気をくれる。遍路の装束の方、犬と散歩中の方など様々で、重そうな荷物を背負った外国人の歩き遍路も多い。また、お接待の飲み物をいただいたこともある。不真面目な遍路なので

香川大学 理事・副学長（企画戦略・特命担当） 清水 明  
恐縮してしまうのだが。

霊場の寺院だけでなく、そこへと至る遍路道、風景、人々などの全体から、生きていくパワーが伝わってきた。東京に長く暮らしてきた私にとって、これらは四国・香川でしか得ることのできない新鮮で貴重な体験である。

今、地域の特色と強みを生かした「地域創生」（まち・ひと・しごと創生）が大きな社会的課題となり、大学にはその推進役としての役割が期待されている。遍路体験を通じて得られた前向きな姿勢で、地域の魅力（もちろん「うどん」と「遍路」だけではない！）とそれを生かすアイデアを発見し、国内外に発信していくことはできないだろうか、と考えている。



## 香大サークル紹介



### 香川大学よさこい連 “風華”

「よさこい」って知っていますか？よさこいとは、簡単に言えば鳴子という楽器を持つ踊りのことです。しかし、学生よさこいの魅力はそれだけではありません！仲間と一緒に踊る楽しさは、きっと大学生活の最高の思い出になります。風華は、香川県内はもちろん全国各地のお祭りに参加しています。お祭りを盛り上げるため、そして自分たちの演舞スキルを向上させるため、日々楽しく練習に励んでいます。また、シーズンオフには来年度の衣装デザインや曲の発注、振り付けなども自分たちで制作しています。活動場所：教育棟 415 教室前、オリブスクエア下、教育グラウンド、ダンス室等



### 児童文化研究会

私たち児童文化研究会は日々、1か月に一回、私たちが行う「わくわく子ども広場」というイベントで子どもたちに喜んでもらえるように、ゲームや劇、工作などの準備や練習をしています。毎年8月には「わくわくサマーキャンプ」、11月には「こどもまつり」など、子どもと楽しく遊べるイベントが盛りだくさんです！！そのほかにもたくさんのイベントがあります。子どもとたくさん触れ合う機会があります！ぜひ、来てくださいね！

活動場所：幸町キャンパス 教育学部棟



### 医学部 香川GIM

香川 GIM は毎週火曜の夜、基礎医学の履修を終えた医学科 4・5 年生が集まり、症例カンファレンスを通じて臨床医学を勉強しているサークルです。GIM は general internal medicine (= 総合内科) の略で、NHK のテレビ番組「総合診療医ドクターG」のようなことをしていると考えていただくとうわりやすいかと思います。普段の活動に加えてメンバーの興味に応じて学内外の講師を招いて特別講義や実習、他大学との勉強会も開催しています。

## イベントカレンダー

### ▼インターンシップ&就職活動 マナー講座

あいさつ  
身だしなみ  
名刺交換  
メール・電話連絡の仕方  
手紙の書き方  
言葉遣い等の  
説明と実習  
講師：大久保 淳氏  
(株式会社マイナビ)

**7/3** 月 ①14:40-16:10 ②16:20-17:50  
対象：主に工学部3年・大学院1年  
場所：工学部 3301 講義室

**7/5** 水 ①13:00-14:30 ②15:00-16:30  
対象：全学部3年・大学院1年  
場所：経済学部 E21 講義室

**7/13** 木 15:00-16:30  
対象：主に農学部3年・大学院1年  
場所：農学部 BW106 講義室  
※3日、5日、13日とも1・2年の参加もOK

問合 / キャリア支援センター 087-832-1157

### ▼一歩先を行く！就活対策 夏季休暇の有効活用について

**7/12** 水 13:00-14:30  
対象：全学部3年・大学院1年  
(1・2年の参加もOK)  
場所：経済学部 E31 講義室

長期休暇はじっくり  
就活準備をする絶好のチャンス！  
自己分析、しごと研究、  
筆記試験対策、インターンシップの  
有効活用など早期対策が望ましい  
就活活動について解説

問合 / キャリア支援センター 087-832-1157

### ▼アドバンスト・セミナー

**7/6** 木 18:00-19:30

テーマ：神原甚造コレクションの  
歴史的位置—収集家の活躍と  
文化財流出の時代—

講 師：守田 逸人准教授（教育学部）  
対 象：香川大学生  
(教職員、学外の希望者も参加可)

場 所：幸町北キャンパス  
OLIVE SQUARE 2F  
多目的ホール

問合 / 修学支援グループ庵原 087-832-1151

